



未来

第32号

平成27年
2月1日

2015年の新年を迎えて

院長 中井志郎

2015年 新年明けまして、おめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたことと、お慶び申し上げます。

昨年は、豪雨災害や火山の噴火により被害に遭われた方々、また、8月20日には、前病院長の増田哲彦先生がご逝去されました。心から哀悼の意を表します。

明るい話題としては、青色LEDの発明と実用化が評価され、3名の日本人工学者がノーベル物理学賞を受賞されたことは、日本人が持っているたゆまない努力と底力を見せてくれたことに、日本人としての誇りを再認識した気がします。

他方、我が国の債務は一千兆円を超えています。日本の経済は、未だ回復を見ない中、アベノミクスの更なる推進を昨年暮れの総選挙で国民は後押しする審判を下しました。

今年は、「乙羊」の年です。物が群がり、行動を起こす前の一休みの時です。

我が国の医療は、団塊の世代が75歳以上になる2025年に向けて、昨年10月より病床機能報告制度が始まりました。急性期医療、

回復期リハビリテーション、在宅医療、介護が円滑に連携するように都道府県ごとの地域医療ビジョンを策定し、地域包括ケアシステムを構築することが求められています。

昭和22年12月15日に広島記念病院が誕生した時より、当院は、内科、外科、産婦人科を中心に運営されてきました。しかし、昨年3月で産科を廃業することになりました。こうした医療環境の中において、今後、当院は消化器疾患に特化した、「消化器病センター」、「消化器癌センター」を目指し、準備していきたいと考えています。

また、昨年後半よりがん患者さんのリハビリテーションを開始するとともに、緩和チーム、栄養サポートチーム、褥瘡チーム及び化学療法チームについても、少しずつ前進しています。

本年も各職場の職員一人ひとりが、日々研鑽を積み、全ての職員が良質な医療を提供できるよう一致団結し、患者さんや地域の先生方の期待に添うよう努力を重ねていく所存ですので、引き続きご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

平成26年8月 広島市豪雨災害 災害支援ナース 活動報告

外来主任 酒井 美 明

派遣内容：医療救護班 夜間巡回チーム

派遣期間：8月23日～8月31日、9月5日～9月7日

活動時間：午後8時～午前8時

派遣メンバー：酒井美明、藤田孝子、兼森聖子、篠原茉未

派遣条件：災害支援ナース育成研修 修了者 広島県看護協会災害支援ナース登録者

8月20日に発生した広島市豪雨災害にともない、広島県より広島県看護協会へ災害支援ナースの派遣要請がありました。当院からは、4名の災害支援ナースが、計12日間、夜間巡回チームとして医療救護活動に従事しました。派遣期間の12日間の中で私は、6日間広島市安佐南区梅林小学校で医療救護班として活動しました。

活動内容は、広島市民病院の医師と共に避難所内を巡回し、診察・処置および近隣の避難所からの医療的な電話相談または、必要時の訪問でした。8月23日は初日ということもあり、医師・看護師が夜間常駐していることを知らない方が多くおられました。避難所内の巡回後に、擦過傷などに対する処置を受けに来られる方が徐々に増えて行きました。中には、破傷風の危険性があり、直ちに搬送し治療を開始した事例もありました。2日目以降は巡回チームの存在が周知され、多くの方が診察に来られました。その後は、気候・気温の変化により感冒症状・呼吸器症状を訴える避難者や、不安、不眠を訴える方も多くおられました。

派遣期間を通して感じたことは、避難所や、避難者によってニーズは異なります。その為、限られた時間の中で「今、何が求められているのか、また、何が必要か」を考えながら活動を行うことが重要だと感じました。また、強い雨が降る度に不安な表情で過ごされている被災者の思いに寄り添うこともとても大切だと感じました。

今後、災害がないことが一番ですが、もし災害が起きた場合には、要請があれば現地に赴き、少しでも被災地、被災者の方の力になりたいと思います。



広島市土砂災害における夜間巡回医療チームへの災害派遣を終えて

派遣期間：平成 26 年 9 月 5 日～9 月 7 日（3 日間）

篠原 茉未

災害発生より 2 週間経過し、避難所内で生活を送る方は 200 人前後と報道されていたが実際には数十人程度の方が夜間帯避難所での寝泊まりをされていた。被災者の方から「毎回回ってきて結局何もしてくれん。病院いけって言うのはわかるけど、家の事するのに今は精一杯で受診する暇がないんよ。もしなんかあったとしても治療する金もない。あんたらに言ってもしょうがないか。ごめんな。」と思いを訴えられる場面があった。

翌日から避難所内での部屋の移動が開始となる時期であり、避難者の方の多くが憤りを訴えられていた。避難者の方に対し思いを傾聴し「できることは少ないかもしれないが、できる医療の範囲でサポートしたい」という気持ちを伝えた。災害医療チームでできる事は限られており、継続し観察し必要な方に対しては受診をすすめるしかない状況であった。

様々な職種、多くの人が入り替わり介入する現状に対し、被災者の方に起こっている現状は私たちの想像以上に深い悲しみや苦しみがああり、看護師として災害現場で何ができるのか、何が望まれるのか今後の災害医療への課題も考えさせられる 3 日間であった。今回初対面のメンバーでチームとなり支援をする上で挨拶・笑顔・情報共有・他職種への思いやりが大切であると学んだ。今後もこの学びを院内の防災も含め災害支援に活かしていきたいと思う。



日	時間	内容	備考
火		医療指示(本制)	
水		第時	
木			
金	13:00～15:00	桑原 医療	(土 16:00 まで)
土	16:00～20:00	市保健所	
日	20:00～	"	16:00～21:00
月			
火	A	市保健師 2名	9:00～18:00 (8:00～9:00)
水	B	県保健師	8:30～19:15 17:00～8:00
木	C	市環境保健師	9:30～20:30
金	D	火警互換下 2名	基本的に 3泊4日
土	E	薬剤師会 2名	① 9:00～15:00 ② 15:00～21:00 ③ 21:00～翌 9:00
日	F	県公衆衛生科 4名 (リハビリ)	8:30～17:00

自主防災訓練

5病棟 坂本未来

平成26年11月30日、本川小学校にて本川地区の自主防災訓練がありました。当院からは救護班として、事務部長と用度施設課の方と私の3名で参加しました。

休日でもあり、多くの方が参加され、自治会の各担当の方々や、消防の方からそれぞれ説明がありました。昨年8月に安佐南区と安佐北区で土砂災害もあり、避難経路の用紙が配られ、各自で日頃から確認してもらうよう説明されていました。地域の皆さんも熱心に聞いておられたのが印象的でした。その後、グループに分かれ、消防の方から毛布による防寒着の作り方や心肺蘇生の方法など指導がありました。

今回参加させて頂き、いつどのような場面で災害が起こるか分からない中で、一人一人が意識して防災に努めていかなければいけないと改めて感じました。



認定
看護師
紹介

摂食・嚥下障害看護認定看護師

看護部 坂田 温子



2014年6月、摂食・嚥下障害看護認定看護師の資格を取得いたしました。摂食・嚥下障害看護では、食物が食べにくい、飲み込みにくい、むせるなど、口から食べることに問題を抱えている人々へ安全な食支援を行い、生活の質の向上を目指しております。

今日の日本は少子・高齢化に伴う超高齢社会への移行が懸念されており、このことは摂食・嚥下障害看護においても重大な問題として捉えられています。摂食・嚥下機能の低下は、脳血管疾患や神経・筋疾患などの疾患によるものだけではなく、加齢に伴う咽頭周囲の筋力や感覚の低下によっても起こります。今後、高齢者のさらなる増加に伴い、摂食・嚥下障害を持つ人々は確実に増加し、私たち医療従事者には、摂食・嚥下障害看護に対する意識・知識・技術の向上が求められております。

摂食・嚥下障害看護認定看護師として、入院患者様に対し摂食・嚥下障害により引き起こされる誤嚥性肺炎・窒息・低栄養・脱水といった生命の危機から人々を守り、安全に口からおいしく食物が摂取できるようスタッフ教育、患者・家族指導に努めてまいります。具体的活動として、摂食・嚥下障害の病態を理解し、フィジカルアセスメントの結果を踏まえた嚥下機能の評価をしていきます。その結果をもとに、一人一人に適切な摂食姿勢・食具・食形態・細かい食べ方の注意点を提案していきます。また、栄養サポートチーム（NST）と協同し早期からの栄養管理介入に努めるとともに、摂食・嚥下機能の低下予防・改善するために効果的なりハビリ訓練についても提案していきます。

院内・院外ともに活動を展開し、より多くの皆様に口から食べることの喜びとその大切さを伝えていきたいと考えております。摂食・嚥下障害に関するご相談にも対応していきたくて考えておりますので、お気軽にご相談ください。

食べることは生きる力になります。いつまでも、笑顔で、おいしくご飯を食べましょう。



広島記念病院 第10回 公開講座

日 時：平成 26 年 9 月 2 日（火） 13：30～14：30

テーマ：『知って安心 きいて納得 ジェネリック医薬品のおはなし』

講 師：広島記念病院 薬局長 古元 俊 徳

広島記念病院 薬局長の古元俊徳が、ジェネリック医薬品についてお話をしました。

ジェネリック医薬品は国の推進もあり、安価でお財布にもやさしいですが、有効性や安全性に不安を感じている方も多いようです。そこで 先発医薬品とジェネリック医薬品の違いや、ジェネリック医薬品とはそもそもどういう物かということについて詳しく説明しました。

*ジェネリック医薬品は厳正に審査されるので、品質、安定性、有効性、安全性においては先発医薬品と大きな差はない。

*先発医薬品と同じでなければいけないのは、有効成分、その量、効き目、安全性である。

違いが認められていることは、色、形、添加物などであり、その為、ジェネリック医薬品では

- ①水なしでも飲める口腔内崩壊錠（OD 錠）
- ②小児の薬では、苦みを感じにくく飲みやすい工夫
- ③印字が見えやすい、デザインがよい
- ④従来は冷所保存が必要だった点眼薬を、室温保存可能になどの工夫を行っている

しかし、先発医薬品をジェネリック医薬品に替えることが、適切でない場合もあるため、まずは主治医・かかりつけ薬局へ相談することが必要です。

皆様が安心して治療を継続していただくのに役立つ講演会になったと思います。



9月地域医療従事者研修会

日 時：平成 26 年 9 月 17 日（水） 18：00～19：30

テーマ：「PNS 導入後の現状とこれから」

講 師：土谷総合病院 胡 麻 三千代さん

吉島病院 櫻 本 優 子さん

広島記念病院 御 厨 加代子

今回の地域医療従事者研修会は、『PNS 導入後の現状とこれから』として看護セミナーを行いました。

PNS は「看護師が質の高い看護をともに提供することを目的とし、良きパートナーとして対等な立場で互いの特性を活かし、相互に補完し合い、その成果と責任を共有する看護体制」と定義付けられています。

当院では、固定チーム・デイパートナー方式を採用し、今年度は、固定チーム・デイパートナー方式の定着に向けて、試行錯誤しながら取り組んでいます。

本研修では、一つ目に、PNS 導入を行っている病院や PNS 導入を取り組みはじめた病院の方々から、独自に工夫されている点や現状、課題等を発表して頂き、アイデアや情報を共有すること、二つ目は、今後、PNS 導入を考えている施設の方の参考になる場とする為、グループワークを行い、色々な情報を交換することで新たな気づきができる場となるようにと考え、企画しました。

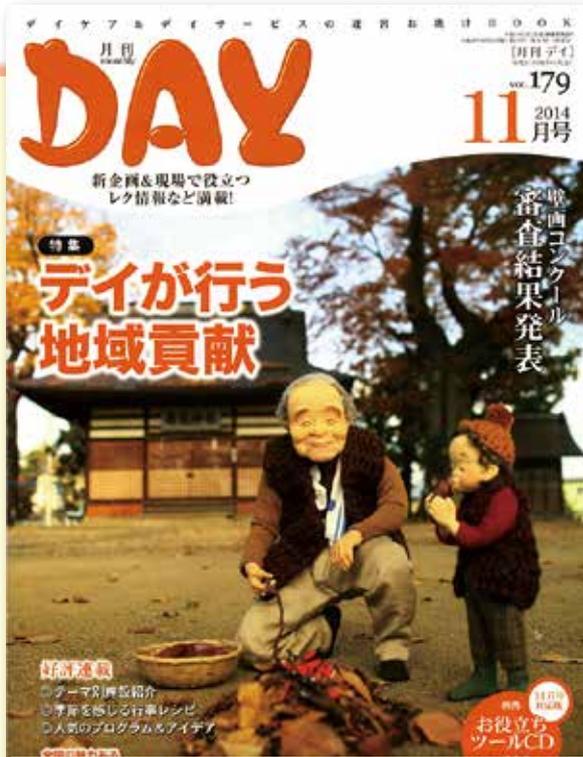
10 施設から 82 名の参加がありました。主任・師長の参加が多く、現場で推進していくうえでの悩みから、導入から推進、定着の過程をどう進めるか、具体的な課題等の話し合いができました。



「自慢のレク・クラフト大集合」に掲載

介護老人保健施設 記念寿の利用者様が製作されたカープユニフォームの壁画が月刊 DAY「自慢のレク・クラフト大集合」に掲載されました。

この壁画は、発砲スチロールの板に2cm角の布を爪楊枝で挿して作ってあります。カープファンの利用者様も多く、楽しみながら製作できました。



リハビリテーション科 機能訓練室 完成

リハビリテーション科 機能訓練室 紹介

最新のパワーリハ機器、エアロバイク（エルゴメータ）を広さ 100㎡を超える室内に設置。鏡張りの壁面の前には、長さ 8m の手すりを取付け、リハビリテーション環境 抜群です。



パワーリハ機器の紹介



レッグプレス

下肢筋全体の筋肉を強化します。
立ち上がる、座る、しゃがむ、歩く等の動作、
日常生活に必要な筋力を強化します。

レッグエクステンション

大腿四頭筋の筋力を強化します。膝関節の
可動域拡大により、歩幅が広がり、膝が安定
します。



ローイング

広背筋、菱形筋を強化して、
円背（猫背）を予防・改善します。

リハビリテーションスタッフ

・理学療法士 井上 恭子
川口 貴大
出店 英資
松本 朋之

業務内容

病気による力や体力の低下した方、また手術前後の方にリハビリテーションを提供します。

筋力トレーニングや動作指導を行い、ADL 低下予防に努めます。

広島記念病院「理念」「憲章」

理 念

患者の皆様が、安心して受診できる、やすらぎの環境及び満足と信頼が得られる最良の医療サービスを提供する。

憲 章

1. 私達は、「癒しの心」を医療の心として職務に専念します。
2. 私達は、患者様の人権と意思を最大限に尊重し、納得と同意に基づいた全人的医療を目指します。
3. 私達は、日々自己研鑽に励み、良質で温もりのある、地域に密着した医療を心がけます。
4. 私達は、地域医療体系に参加し各々の持てる機能の連携により、より合理的で効率的な良質の医療に努めます。

地域医療連携室

TEL 082 (503) 0730

FAX 082 (503) 1010

代表 広島記念病院

TEL 082 (292) 1271

FAX 082 (292) 8175

庶務課

TEL 082 (503) 1001

内科・外科

FAX 082 (503) 0722

産婦人科・小児科

FAX 082 (503) 0723

耳鼻科・皮膚科・泌尿器科

FAX 082 (503) 1010

記念寿

TEL 082 (294) 8400

FAX 082 (294) 8420

合庁(合同庁舎診療所)

TEL 082 (221) 9411

FAX 082 (223) 6204

歯科診療所

TEL 082 (294) 7858

外来診療担当表

平成27年2月1日現在

診療科	受付時間	区 分	月	火	水	木	金	土
内 科	8:30~11:00	一 診	隅 井	山 田	隅 井	隅 井	津 賀	当番医
		二 診	江 口	田 村	津 賀	江 口	田 村	
		三 診	炭 田	阿座上	炭 田	阿座上	山 本	
		四 診						
総合診療科	8:30~11:00		横 崎	菊 地			休 診	
外 科	8:30~11:00	一 診	宮 本	中 井	坂 下	宮 本	中 井	当番医
		二 診	首 藤	横 山	首 藤	横 山	坂 下	
	三 診	小 林	手 術	小 林	手 術	手 術		
	手術	手 術	手 術	手 術	手 術	手 術		
	13:00~14:30		宮 本	中 井	坂 下	宮 本	中 井	
			手 術	手 術	手 術	手 術	手 術	
産婦人科	8:30~11:00	一 診	横 田	横 田	横 田	横 田	横 田	休 診
	13:00~14:30	一 診	横 田				横 田	
小 児 科	8:30~11:00	一般診療	岸	岸	岸	岸	岸	
	13:00~13:30	健診・予防接種	予防接種	乳児健診(予約)	予約検査	予約検査	予防接種	
	14:30~16:00	一般診療	広大医師	藤 井		岸	岸	
耳鼻咽喉科	8:30~11:00	一 診	長 田		長 田		井門、又は杉本	
皮膚科	8:30~11:00		河 合				横 林	
泌尿器科	8:30~11:00			井 上		重 松	川 崎	
眼 科	8:30~11:00	一 診	金 本	金 本	金 本	金 本	高 本	
		二 診		藤 東		藤 東		
	午後(予約のみ)	手術	検 査	手 術	検 査			
広島記念診療所 歯 科	8:30~11:00		山 田	山 田	山 田	山 田	山 田	電話番号 294-7858
	13:00~16:00		山 田	山 田	山 田	山 田	山 田	

* (注) 土曜日は休診ですが、内科一診、外科一診は診察しております。
歯科を除く各科とも再診は7:30から受付けています。

部分は女性医師です。

広島記念病院案内図



交通のご案内

JR 広島駅より市内電車宮島行き・己斐行・江波行にて、
本川町下車、南へ100メートル徒歩1分
広島バス商工センター行き・祇園大橋行きにて
本川町下車、南へ100メートル徒歩1分
広島駅前よりタクシーで約10分

駐車場

立体駐車場 72台、平面駐車場 10台
身障者専用駐車場 3台
詳細は病院ホームページをご覧ください